

避難の合言葉 命を守るメッセージ

学校防災優秀作品13点を表彰



● 最優秀に阿部君(石巻小1年) ●

第7回学校防災「合言葉」コンクール(市教育委員会主催)の優秀作品表彰式が12月9日、防災センターで行われ、最優秀の阿部湊君(石巻小学校1年)をはじめ、小・中学生13人を表彰しました。阿部君の作品は「すぐにげる かぞくで決めた 避難場所 必ず迎えに行くからね」。災害時の迅速な避難を家族の視点から呼び掛けました。亀山紘市長は「震災の記憶を風化させず、未来に伝えることが大切。これらのメッセージが地域の人たちの命を守ると確信しています」とあいさつし、賞状を手渡しました。

合言葉の募集には小・中学校などから3,363点の応募がありました。最優秀1点、優秀2点、優良2点、佳作8点の入賞13点と、入選10点を選考しました。優秀作品は市報に随時掲載するほか、市民の防災意識の向上に役立つよう各種イベントなどで活用されます。

図 学校安全推進課(内線5082)

賞	合 言 葉	氏 名	性別	学 校 名	学年
最優秀	すぐにげる かぞくで決めた 避難場所 必ず迎えに行くからね	あべ 湊	男	石巻小学校	1
優 秀	忘れるな あの日の記憶と 避難場所	おいで 莉愛	女	飯野川小学校	2
	きめておこう かぞくみんなが あえるばしょ	おやま 迅	男	湊小学校	2
優 良	話し合い 家族で決めよう 避難場所 一人の時でも 迷わぬように	おいかわ 琉凰	男	石巻小学校	5
	常に持とう 防災知識と防災意識	あべ 晴斗	男	桃生中学校	1
佳 作	チェックした! 防災グッズとハザードマップ 声かけて 先頭に立つよ 自分から	あいかわ 明日香	女	山下中学校	2
	「あぶないぞ」 みんなに知らせて 伝え合う 一人一人が 防災無線	やまうち 琉愛	女	北上小学校	6
	もどらない 命が一番の 貴重品	たけうち 琴乃	女	石巻小学校	6
	備えよう もの、場所、道と心の準備	たけやま 大範	男	青葉中学校	3
	忘れない 過去の災害掘り起こし みんなに伝えて 未来へつなぐ	えんどう 則晴	男	河南西中学校	2
	危険だぞ 叫び 行動 心がけ すべての命 守れる人に	さとう 莉緒	女	青葉中学校	2
	来るはずない その言葉を捨てて すぐ高台へ	よこやま 加朋	女	向陽小学校	5
	「忘れない」 何より大事な防災です	かわかみ 灯	女	山下中学校	3



最優秀作品を受賞した阿部君

危機を感じたら素早く避難を

天気キャスター講師に防災気象講座



◀ 自然災害から命を守る手段を講話する内藤氏



講話に熱心に耳を傾ける聴講者

気象庁などが発表する気象情報の基礎知識や的確な情報取得方法を学んでもらう市主催の「防災気象講座」が1月8日、市防災センターで開かれました。KHB東日本放送気象キャスターで防災士の内藤俊太郎氏が講師となり、台風や大雨などの自然災害から命を守るため、自分が住む場所にどのような災害の危機があるか把握し、危険が迫る前に安全な場所へ避難することの大切さを呼び掛けました。

内藤氏は「いのちを守る、気象情報の基本」をテーマに講話。近年、国内では降水日数が減る一方

で、一度に降る雨量が増えていることを指摘しました。こうした集中豪雨の発生要因として、「地球温暖化が進んで気温が上昇し、空気中に含まれる水蒸気量が増えているため」と解説。さらに日本の河川は外国の河川より急流なため増水しやすいことも付け加えました。

ワークショップでは、気象庁などが発表する気象・防災情報や自治体が作成するハザードマップの有効な活用方法も指導。内藤氏は「災害の種類により避難する場所が違ってくことを認識してください。洪水危険区域や土砂災害が心配される区

域から離れ、災害の危険がないのであれば、自宅にとどまったり、近所の丈夫な建物などに逃げたりすることも避難になります」と教えました。

防災気象講座は、昨年10月の台風19号など近年多発する自然災害によって、市民の間で風水害に関する意識が高まっていることから初めて開かれ、市内に在住、勤務・通学する29人が聴講しました。聴講者は「台風や大雨の際の情報収集や避難の仕方について、とても分かりやすく学ぶことができました」と感想を話していました。

図 危機対策課(内線4313)